

◆ 第1回参観日を行いました ◆

平成27年4月25日(土)



本年度、最初の参観日は、1時間目に担任による国語や算数の授業を見ていただき、その後、学級懇談、教育後援会総会、1年生の保護者の方へ食育研修会を行いました。

参観授業では、保護者の方にがんばっている姿をみてもらおうと、はりきっている子、緊張している子などいろいろな表情がみられました。その後の、学級懇談では、「家ではおとなしいのに、積極的に発表していて驚いた。」「がんばって練習した成果をだしきっている姿がうれしかった。」などの感想を頂き、お子さんのがんばっている姿を見ていただくことができ、学校としても嬉しかったです。教育後援会総会では、本校の教育推進を支えてくださっている教育後援会の1年間の予定や予算などが話し合われ、新旧の役員の方のあいさつなども行われました。食育研修会では、週に1度提供している行事食でどのような取り組みをしていくか、また、どのような力をつけていくように取り組んでいくかといった説明と、お弁当で心がけていただきたいことなどについて研修しました。食は元気な体をつくる源です。毎日のお弁当では、ご家庭のご協力をいただきますが、ご家庭と学校が車の両輪となって子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思えます。また、ぎんがの郷小学校では、業者のお弁当を注文することもできます。働く保護者の皆様にも、安心してお子さんを預けていただけます。



◆ ぬけるような青空の下、遠足に行ってきました ◆

平成27年4月28日(火)



ぬけるような青空に恵まれ、ぽかぽか陽気のなか、春の遠足が行われました。1年生は地元大門の町並みを実際に歩きました。大門には、もともとは海に浮かぶ島であった場所が、埋め立てにより陸続きになっているところがあります。海だった場所を歩いているという不思議さと、今のようにブルドーザーもダンプカーもない江戸時代にどうやって埋め立てをしたのか、昔のひとたちの

すごさを感じながらの遠足となりました。お昼には、お友達と一緒に弁当を食べました。遠足で歩いてきた道で見つけた発見や、好きな食べ物、趣味の話など、会話がはずみ、仲間づくりのよい機会となりました。ぎんがの郷小学校では、2年生は幕山へ、3年生は春日池公園へ、4年生は電車を利用して神辺へ、5年生はメモリアルパークへ、6年生は電車を利用して尾道に行きます。子どもたちは、普段の授業や休憩時間に加えて、このような行事を通じて仲間作りをしたり、体験を積んだりしています。

ぎんがの郷コラム

近藤 恭弘

アドラー心理学をご存知でしょうか？フロイトやユングと同時代に生きたアドラーですが、先の二人ほど有名ではないかもしれませんが、しかし、大きな書店には、アドラー心理学に関する本が増えています。

教育現場では、子どものさまざまな行動などを、子どもの性格や家庭環境などのせいにして、どうしようもできないことがあるという考えも聞くことがあります。このような考え方を原因論つまり、〇〇が原因でこうなっているという考え方もありますが、アドラー心理学は、そうではありません。〇〇のために、こうしている。つまり、目的論という考え方です。例えば、「あの子は、甘やかされて育ったから、何事も続かないのだ」といった考えが原因論。「あの子は、自分もできないかったら恥ずかしい…恥ずかしい思いをしないために、何もしないのだ」といった考えが目的論です。前者のように考えてしまうと、教師は何もできません。しかし、後者のように考えれば、教師としての支援が考えられます。

アドラー心理学は、子どもにとらえ方、教師のなすべきことについて多くの示唆を与えてくれます。大切なお子様をお預かりしているという責任を重く感じ、これからも研鑽を深めたいと思います。

参考図書：「アドラー心理学入門」岸見 一郎著 スズバストセラーズ

ぎんがの郷タイムス第2号は6月上旬にお届けする予定です。